

OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS

GRADUATE SCHOOL ADMISSIONS GUIDE

2027

大学院入試ガイド 2027

経済学研究科 博士前期課程／博士後期課程

経営学研究科 修士課程

経営情報研究科 修士課程

人間科学研究科 修士課程 臨床心理学専攻／人間共生専攻

目 次

募集人員	1
入試種別・入試日程・試験会場・入学検定料・学費等納付金	2
大学院3つのポリシー	3
各研究科アドミッション・ポリシー	3
入試概要 一般入試	5
社会人入試／社会人入試（サテライトコース）	6
学内特別入試	7
推薦入試	8
外国人留学生入試	9
飛び級入試（春季のみ）	10
2025年度9月入学・2026年度4月入学入試結果	11
個別入学資格審査	12
インフォメーション（大学院入試説明会、よくある質問）	13
キャンパスマップ	14

出願の際は、必ずそれぞれの募集要項で詳細を確認してください。

募集要項は下記のQRコード【入試情報サイト】から請求できます。



◆募集人員

研究科	課程	専攻	募集人員
経済学研究科	博士前期課程	経済学専攻	10
	博士後期課程	経済学専攻	5
経営学研究科	修士課程	経営学専攻	50
経営情報研究科	修士課程	経営情報専攻	20
人間科学研究科	修士課程	臨床心理学専攻	10
		人間共生専攻	10

※募集人員は、各入学年度の全入試制度を合計したものの。

※海外在住者の受験は、4月入学入試(秋季)のみ募集します。

◆入試種別(○は実施予定)

		経済学		経営学	経営情報	人間科学		
		博士前期	博士後期			臨床心理	人間共生	
一般	秋季	○	○	○	—	○	○	
	春季	○	○	○	○	○	○	
社会人	9月入学	秋季	—	—	—	—	○	
		4月入学	秋季	○	○	○	○	○
	サテライト コース	秋季	○	○	○	○	—	○
		春季	—	—	○	○	—	—
留学生	9月入学	秋季	—	—	○	○	○	
		4月入学	秋季	○	○	○	○	○
	春季	○	○	○	○	○	○	
飛び級	春季	○	—	○(学内)	○(学内)	—	—	
学内特別	秋季	○	—	○	○	○	○	
	春季	○	—	○	○	○	○	
推薦	秋季	—	—	—	—	○	—	
	春季	—	—	—	—	○	—	

◆入試日程

入試時期	出願期間	試験日	合格発表
2026年度9月入学 ※1	2026年5月18日(月) ~5月27日(水)	2026年6月20日(土)	2026年7月1日(水)
2027年度4月入学 (秋季)※2	2026年8月24日(月) ~9月3日(木)	2026年9月19日(土) ・20日(日)	2026年10月7日(水)
2027年度4月入学 (春季)	2027年1月4日(月) ~1月14日(木)	2027年2月20日(土) ・21日(日)	2027年3月5日(金)

※1 外国人留学生および社会人(人間科学研究科のみ)対象

※2 人間科学研究科臨床心理学専攻の学内特別入試は、9月18日(金)に入学試験を実施します。

◆試験会場 本学(大隅キャンパス)

◆入学検定料 35,000円

◆学費等納付金

(単位:円)

		年額	春学期	秋学期
入学金(本学卒業生は免除)		200,000	200,000	—
学費	授業料	530,000	265,000	265,000
	施設設備資金	140,000	70,000	70,000
諸会費	大経大学会費	1,000	1,000	—
合計		871,000	536,000	335,000

※私費外国人留学生には、学費減免を願い出ることができる制度があります(認定基準があります)。

◆大学院 3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー

大阪経済大学大学院は、本学の建学の精神である「自由と融和」の伝統を生かし、学術的および実務的成果を探究することで社会における主体的な実践力を発揮する人材を育成します。そのため、各研究科・専攻において、専門的な学問の知識を教授する過程を編成し、所定の単位を修得し、かつ論文の審査に合格した者に対して、学位を授与します。

カリキュラム・ポリシー

大阪経済大学大学院は、各研究科・専攻で定めた課程に基づいて、研究の遂行ならびに高度職業人になるために必要な専門科目を体系的に編成したカリキュラムを提供します。講義科目は、多面的な研究方法の修得と、高度に専門的な知識の獲得、および論文作成のための礎づくりを目標に構成されています。一方、研究指導では、学生が選定する研究テーマに関して、指導教員から指導・助言が与えられるとともに、教員と学生および学生同士の主体的な議論を通して、専門知識を錬磨し、研究成果を自律的にまとめ上げることが求められます。

アドミッション・ポリシー

大阪経済大学大学院の教育目標に定める研究者ならびに高度職業人を育成するため、次のような意欲と資質を備えた学生を求めています。すなわち、高い基礎学力を備え、学問および実務に関する関心が高く、本学の建学の精神である「自由と融和」を志す者です。

博士前期課程・修士課程にあつては、各研究科・専攻の分野に関する学士相当程度の基礎知識を有するとともに、研究および論文作成について主体的に真摯に取り組む意欲が求められます。博士後期課程にあつては、専攻分野に関する高度に専門的な知識を有することはもちろん、研究を自律的に実践できるための研究方法と強い意欲が備わっていることが求められます。

このような学生を公正かつ適正に選抜するために、社会人入試や留学生入試、入試回数の複数化などの入試制度を通じて、多様な学生を広く国内外・学内外から受け入れます。

◆各研究科アドミッション・ポリシー

経済学研究科

博士前期課程

[求める大学院生像]

- 研究コースにあつては、経済学の理論と応用に関する研究を行い、博士後期課程へ進学して自立した研究者となることに強い意欲を持った人を求めています。
- 税理士養成コースにあつては、経済学を基礎としながら、財政学や税法の理論と応用を研究し、広い視野と深い洞察力を身に着けた税理士となることに強い意欲をもった人を求めています。
- ベーシックコースにあつては、経済学の理論と応用あるいは国内外の地域政策の理論と応用を研究・調査し、専門知識を活かした高度専門職業人志望者や生涯学習に強い意欲をもった人を求めています。

[求める能力・知識と判定方法]

経済学分野における課題に対して論理的に考察し、自身の考えを口頭と文章によつて的確に表現する思考力と表現力を求めています。

以上の思考力と表現力に加え、研究コースにあつては、志望する指導教員が求める専門知識と外国語能力が求められます。税理士養成コースにおいては、財政学や税法の専門知識が求められます。

入学希望者が持つそれら能力や知識の水準の判定は、専門科目、外国語、小論文など筆記試験と、研究計画書に基づく口頭試験により行います。

博士後期課程

[求める大学院生像]

前期課程での研究を土台として、経済学の理論と応用に関するさらに深い研究を通じて独自の研究成果を生み出し、博士学位を取得することに強い意欲をもった人を求めています。

[求める能力・知識と判定方法]

経済学に関する総合的かつ高度な知識と、専門分野における優れた問題発見、分析などの研究能力および論文作成能力を求めています。

入学希望者が持つそれら能力や知識の水準の判定は、専攻分野に関する論文(修士論文を含む)に基づく口頭試験により行います。

経営学研究科

新しいビジネスの仕組みを構想・実現できる研究者並びに高度職業人を育成するために、次のような意欲と資質を備えた学生を求めています。すなわち、高い基礎学力を備え、経営およびビジネス法分野の学術研究および実務への関心が高く、本研究科がカリキュラム・ポリシーに定める『経営と法の融合』を志す者です。経営・ビジネス法分野に関する学士相当程度の基礎知識を有するとともに、研究および論文作成について主体的に真摯に取り組む意欲が求められます。ビジネスを主導する人材育成を目指して、多様性のある教育・研究環境を構築するために、社会人入試や留学生入試、入試回数の複数化などの入試制度を通じて、多様な学生を広く国内外・学内外から受け入れる公正かつ適正な選抜を実施します。

【求める大学院生像】

本研究科が求める大学院生は、上記の方針を理解し、経営と法の両面に精通し新しいマネジメント体系を構想・実現したいという強い意欲を持った人々です。年齢や職業などは問いません。実際、企業経営者や管理職などの企業人、税理士や中小企業診断士などの専門職業人、研究者志望などの留学生や一般学生たちを受け入れています。また、税理士や不動産鑑定士、中小企業診断士の資格取得を目指す人たちも対象となります。(一定の審査要件がありますが、大卒以外の人にも個別資格審査による受験を認めています。)

経営情報研究科

経営情報研究科の教育目標に定める人材を育成するため、経営情報研究科は、次のような意欲と能力を備えた学生を受け入れます。

- (1) 情報技術、企業、ビジネス、社会の諸問題に強い関心を持ち、専門分野において学士課程相当の知識と専門性がある者。
- (2) 主体性をもって学ぶことができ、指導教員やその他の多様な学生とコミュニケーションをとり協働できる者。
- (3) 専門性と技術力を備えた職業人として、社会の発展のために積極的に貢献する志をもつ者。

また、このような学生を適正に選抜するために、税理士等の専門職業人を目指す者、企業人、大学既卒者・卒業見込者、外国人留学生等を対象に、多様な選抜方法を実施します。

人間科学研究科

臨床心理学専攻は、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識や理論、思考方法、それらを修得する基本的素養、社会貢献の意欲、コミュニケーション能力と語学力を備えた入学者を広く受け入れます。

- 1 臨床心理学に関する基本的な知識や理論、思考方法を修得している。
- 2 臨床心理実践に関する高度な知識や技能を修得するのに必要な基本的素養を修得している。
- 3 修得した専門性を活かして実践や研究を通して、将来、社会に貢献する意欲がある。
- 4 現代社会の多様な諸問題に多角的にアプローチするため、幅広い視野と柔軟な思考力、優れたコミュニケーション能力とグローバル化に対応する語学力を持っている。
- 5 1～4を主体的に伸長させる意欲等がある。

人間共生専攻は、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識や理論、思考方法、それらを修得する基本的素養、社会貢献の意欲、コミュニケーション能力と語学力を備えた入学者を広く受け入れます。

- 1 現代社会の様々な諸問題に関心があり、その解決に向けて専門分野に関する基本的な知識や理論、思考方法を修得している。
- 2 専門分野の知識や技能を修得するために必要な基本的素養を修得している。
- 3 修得した専門性を活かし、実践や研究を通して、将来、社会に貢献する意欲がある。
- 4 現代社会の多様な諸問題に多角的にアプローチするため、幅広い視野と柔軟な思考力、優れたコミュニケーション能力とグローバル化に対応する語学力を持っている。
- 5 1～4を主体的に伸長させる意欲等がある。

◆入試概要

※以下はあくまで概要です。詳細は、出願する研究科の募集要項で必ず確認してください。

一般入試

【募集する研究科】

秋 季	経済学、経営学、人間科学
春 季	全研究科

【出願資格】

次の各項のいずれか1つに該当する者

《博士前期・修士》

- (1)日本の大学を卒業した者、または入学までに卒業見込みの者
- (2)大学院入学資格を有する者
- (3)本学大学院において、個別入学資格審査により認められた者

《博士後期》

- (1)日本または外国において修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者、または入学までに授与される見込みの者
- (2)本学大学院において、個別入学資格審査により認められた者

【試験科目・配点】

研 究 科	課 程	専攻／コース	試験科目	配 点
経 済 学	博士前期	研 究	専門科目、外国語、口頭試問	各 100 点
		税理士養成	専門科目、小論文、口頭試問	各 100 点
		ベーシック	小論文、口頭試問	各 100 点
	博士後期		外国語、口頭試問	各 100 点
経 営 学	修 士		専門科目(2科目)、口頭試問	専門各 50 点 口頭 100 点
経営情報	修 士		専門科目、口頭試問	各 100 点
人間科学	修 士	臨床心理学	1次試験:専門科目、外国語	各 100 点
			2次試験:口頭試問	150 点
		人間共生	専門科目、外国語、口頭試問	各 100 点

社会人入試

社会人入試(サテライトコース) ※講義は主に北浜キャンパスで開講します。

※2027年度より、主に梅田サテライトキャンパス(仮称)で開講予定。

【募集する研究科】

9月入学	社会人	人間科学(人間共生)
秋季、春季	社会人	経済学、経営学、経営情報、人間科学(人間共生)
	サテライト	経営学、経営情報

【出願資格】

次の各項のいずれか1つに該当し、大学院入学時点で社会人(有職者)としての実務経験が2年以上ある者
《博士前期・修士》

- (1)日本の大学を卒業した者、または入学までに卒業見込みの者
- (2)大学院入学資格を有する者
- (3)本学大学院において、個別入学資格審査により認められた者

《博士後期》

次の各項のいずれか1つに該当し、大学院入学時点で満30歳以上である者

- (1)修士学位もしくは修士学位に相当する学位を授与された者、または入学までに授与される見込みの者
- (2)本学大学院において、個別入学資格審査により認められた者

【試験科目・配点】

社会人入試

研究科	課程	専攻/コース	試験科目	配点
経済学	博士前期	研究・ベーシック	口頭試問	100点
	博士後期		口頭試問	100点
経営学	修士		口頭試問	100点
経営情報	修士		口頭試問	100点
人間科学	修士	人間共生	口頭試問	100点

社会人入試(サテライトコース)

研究科	課程	専攻/コース	試験科目	配点
経営学	修士	税法ゼミ	小論文、口頭試問	各100点
		税法ゼミ以外	口頭試問	100点
経営情報	修士		小論文、口頭試問	各100点

※上記のほかサテライトコースには、「指定企業推薦入試(春季のみ)」があります。

学内特別入試

【募集する研究科】

秋季、春季	博士後期課程を除く全研究科
-------	---------------

【出願資格】

《共通》

本学 4 年次に在籍し、入学までに卒業見込みの者

《経済学》

次の条件をすべて満たしている者

- (1) 3 年次修了までに、卒業に必要な単位 100 単位以上(外国語はすべて)を修得済みの者
- (2) 演習担当教員またはそれに準ずる教員から推薦された者
- (3) 下記の(a)(b)いずれか 1 つを満たしている者

(a)(1)の卒業必要単位のうち高得点の科目順に 100 単位を選び、その平均点が 80 点以上であること

(b)下記のうちいずれか 1 つに該当すること

税理士試験 1 科目合格、日本商工会議所簿記検定 1 級、法学検定 2 級、ビジネス実務法務検定 2 級、実用英語技能検定準 1 級、国際連合公用語英語検定試験B級、TOEIC600 点、TOEFL iBT61 点(PBT500 点、CBT173 点)、経済学検定「ERE」「ERE ミクロ・マクロ」B+

《経営学》

3 年次修了までに、卒業に必要な単位 90 単位以上を修得し、下記(a)(b)(c)のいずれかを満たしている者

(a)上記の卒業必要単位のうち高得点の科目順に 90 単位を選び、その平均点が 75 点以上であること

(b)下記のうちいずれか 1 つに該当すること

中小企業診断士 1 次試験合格、リテールマーケティング(販売士)検定 1 級の 4 科目以上合格、税理士試験 1 科目以上合格、日本商工会議所簿記検定 1 級、実用英語技能検定準 1 級、国際連合公用語英語検定試験B級、TOEIC730 点、TOEFL iBT79 点(PBT550 点、CBT213 点)、法学検定 2 級、ビジネス実務法務検定 2 級、宅地建物取引主任者試験合格

(c)演習担当教員または学部長から推薦された者

《経営情報》

演習担当教員またはそれに準ずる教員から推薦された者

《人間科学 臨床心理学》

3 年次修了までに、卒業に必要な単位 110 単位以上(外国語はすべて)を修得済みの者で、公認心理師受験資格に必要な科目のうち 20 科目以上を修得し、かつ修得したすべての科目の平均点が 80 点以上である者

《人間科学 人間共生》

演習担当教員またはそれに準ずる教員から推薦された者

※推薦のガイドラインは募集要項に記載

【試験科目・配点】

研究科	課程	専攻／コース	試験科目	配点
経済学	博士前期	研究	口頭試問	100点
		税理士養成	小論文、口頭試問	各100点
経営学	修士	税法ゼミ	小論文、口頭試問	各100点
		税法ゼミ以外	口頭試問	100点
経営情報	修士		口頭試問	100点
人間科学	修士	臨床心理学	口頭試問	100点
		人間共生	口頭試問	100点

〔出願資格早見表〕◎…全員 ○…該当者のみ

	経済学	経営学	経営情報	人間心理	人間共生
必要単位	100単位	90単位	—	110単位	—
平均点	○(80点以上)	○(75点以上)	—	◎(80点以上)	—
推薦書	◎	○	◎	—	◎
資格等	○	○	—	—	—

推薦入試

※「推薦入試」は本学以外の学生が対象です。本学生は「学内特別入試」に出願してください。

【募集する研究科】

秋季、春季	人間科学(臨床心理学)
-------	-------------

【出願資格】

次の条件をすべて満たしている者

- (1) 日本の大学の4年次に在籍し、入学までに卒業見込みの者
- (2) 演習担当教員またはそれに相当する教員から推薦された者

※推薦ガイドラインは募集要項に記載

注)出願前に志望する本学指導教員と、研究内容について事前相談を行ってください。

【事前相談申込メール:in-nyushi@osaka-ue.ac.jp】

【試験科目・配点】

研究科	課程	専攻／コース	試験科目	配点
人間科学	修士	臨床心理学	口頭試問	100点

外国人留学生入試

【募集する研究科】

9月入学	秋季	経営学、経営情報、人間科学(人間共生)
4月入学	秋季、春季	全研究科

【出願資格】

※出願に際しては、「留学」の在留資格を取得または更新できることが条件です。

《博士前期・修士共通》

次の(1)～(3)のいずれか1つに該当する者

- (1)外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者、または入学までに修了する見込みの者
(高等教育自学考试は含めません)
- (2)外国人留学生として日本の大学を卒業した者、または入学までに卒業見込みの者
- (3)本学大学院において、個別入学資格審査により認められた者

《経済学博士前期・経営情報・人間科学》

上記(1)～(3)のいずれか 1 つに該当し、かつ(4)を満たす者

- (4)日本語能力試験 N2 もしくは実用日本語検定 600 点以上(C 級)を修得していること

《博士後期》

- (1)日本または外国において修士の学位や専門職学位を授与された者、または入学までに授与される見込みの者
- (2)本学大学院において、個別入学資格審査により認められた者

【試験科目・配点】

研究科	課程	専攻/コース	試験科目	配点
経済学	博士前期	研究	専門科目、口頭試問	各 100 点
		ベーシック	小論文、口頭試問	各 100 点
	博士後期		口頭試問	100 点
経営学	修士		専門科目、外国語、口頭試問	各 100 点
経営情報	修士		専門科目、口頭試問	各 100 点
人間科学	修士	臨床心理学	1 次試験: 専門科目	100 点
			2 次試験: 口頭試問	150 点
		人間共生	専門科目、口頭試問	各 100 点

飛び級入試(春季のみ)(※経営学・経営情報は学内のみ)

【募集する研究科】

春 季 | 経済学 博士前期、経営学、経営情報

【出願資格】

次の各項のすべてに該当する者

《経済学》

- (1) 学部 3 年次に在籍している者
- (2) 2 年次修了時に、卒業に必要な単位の 6 割以上を修得し、かつその平均点が 85 点以上またはその 85%以上が「優」の評価を得ている者

《経営学》

- (1) 本学 3 年次に在籍している者
- (2) 3 年次春学期修了時に、卒業に必要な単位 100 単位以上を修得し、高得点の科目の順に 100 単位を選び、その平均点が 80 点以上の者

《経営情報》

- (1) 本学 3 年次に在籍している者
- (2) 2 年次修了時に、卒業に必要な単位の 6 割以上を修得し、かつその平均点が 85 点以上またはその 85%以上が「優」の評価を得ている者

【試験科目・配点】

研究科	課程	専攻／コース	試験科目	配点
経済学	博士前期	研 究	専門科目、外国語、口頭試問	各 100 点
		税理士養成	専門科目、小論文、口頭試問	各 100 点
経営学	修 士		専門科目、口頭試問	各 100 点
経営情報	修 士		専門科目、口頭試問	各 100 点

◆2025 年度 9 月入学・2026 年度 4 月入学 入試結果

経済学研究科

	課程	入試種別	コース	志願者	受験者	合格者	入学者	倍率
秋季	博士前期	一般	税理士養成	4	3	0	-	-
		学内特別	税理士養成	2	2	1	1	2.0
		留学生	ベーシック	3	2	2	2	1.0
春季	博士前期	一般	税理士養成	3	3	2	2	1.5
		学内特別	税理士養成	3	3	2	2	1.5
		留学生	研究	4	2	2	2	1.0
	博士後期	社会人		1	1	1	1	1.0
		留学生		1	1	1	1	1.0

経営学研究科

	課程	入試種別	コース	志願者	受験者	合格者	入学者	倍率
秋季	修士	一般	税法ゼミ	4	3	2	1	1.5
		学内特別	税法ゼミ以外	2	2	2	2	1.0
		学内特別	税法ゼミ	3	3	2	0	1.5
		社会人		2	2	1	1	2.0
		サテライト一般	税法ゼミ	17	14	11	8	1.3
		留学生	9月入学	10	7	4	4	1.8
			4月入学	11	9	8	7	1.1
春季	修士	一般	税法ゼミ以外	1	0	-	-	-
		一般	税法ゼミ	3	2	0	-	-
		学内特別	税法ゼミ	3	3	1	1	3.0
		社会人		3	3	1	0	3.0
		サテライト一般	税法ゼミ以外	1	1	1	0	1.0
		サテライト一般	税法ゼミ	32	24	23	21	1.0
		サテライト指定	税法ゼミ以外	1	1	1	1	1.0
		留学生	4月入学	26	13	7	6	1.9

経営情報研究科

	課程	入試種別	コース	志願者	受験者	合格者	入学者	倍率
秋季	修士	留学生	4月入学	1	1	1	1	1.0
春季	修士	学内特別		1	1	1	1	1.0
		サテライト一般		1	1	1	0	1.0
		留学生	4月入学	1	1	0	-	-

人間科学研究科

	課程	専攻	入試種別	志願者	受験者	合格者	入学者	倍率
秋季	修士	臨床心理学	一般	13	13	3	2	4.3
			学内特別	5	5	3	3	1.7
			推薦	9	7	3	3	2.3
			留学生	2	2	0	-	-

秋 季		人間共生	社会人	1	1	1	0	1.0
			留学生/9月入学	3	3	2	2	1.5
			留学生/4月入学	2	2	1	1	2.0
春 季	修 士	臨床心理学	一般	5	5	1	1	5.0
			学内特別	2	2	1	1	2.0
			推薦	1	1	0	-	-
			留学生	1	1	0	-	-
		人間共生	一般	2	2	2	2	1.0
			社会人	2	2	2	2	1.0
			留学生	2	2	2	2	1.0

個別入学資格審査

本学大学院において、日本の大学を卒業した者(博士後期を希望する場合は、修士の学位または専門職学位を有する者)と同等以上の学力があるかどうかを認定する審査です。認定された者は本学大学院に出席することができます。

対象者

本学大学院の出願資格を有しない者で、大学院入学までに 22 歳(博士後期を希望する場合は 24 歳)に達する者

※研究科・入試種別によって条件が異なる場合があります。

申請期間 ※締切日必着

【9月入学:外国人留学生、社会人(人間共生のみ)】

2026年4月6日(月)~4月16日(木)

【4月入学】

〔秋季〕2026年7月6日(月)~7月16日(木)

〔春季〕2026年11月16日(月)~11月26日(木)

※必要に応じ面接を課す場合があります。

申請書類は、本学 WEB サイト「入試情報サイト▶大学院入試」よりダウンロードしてください。

入試情報サイト ▶



ご不明点等あれば、入試部 大学院入試窓口までお問い合わせください。

TEL:06-6328-2003(入試部直通)

MAIL:in-nyushi@osaka-ue.ac.jp

◆インフォメーション

●大学院入試説明会

年2～3回(5月頃、7月頃、12月頃)、大隅キャンパスにて開催しています。入学試験要項や過去問題集の配付、本学教授陣による研究科紹介などを行っています。参加費無料です。開催日程など詳細は、本学WEBサイト「入試情報サイト▶大学院入試」をご確認ください。

●よくある質問

Q. 税理士試験免除を希望しているのですが、どの研究科がいいでしょうか？

A. 経済学研究科、経営学研究科、経営情報研究科で税理士試験免除の論文指導を行っています。それぞれの特長は以下のとおりです。詳細は、本学教務・国際部大学院担当にお問い合わせください。

研究科	科目免除対象	開講時間	主なキャンパス
経済学	税法科目	平日昼間	大隅
経営学	税法科目または 会計科目	平日夜間・土曜昼間 (会計科目は要相談)	サテライト(税法) 大隅(会計)
経営情報	会計科目	平日夜間・土曜昼間	サテライト

Q. 臨床心理士、公認心理師を目指していますが、受験資格を得られますか？

A. 人間科学研究科臨床心理学専攻は、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院です。また、公認心理師受験資格に対応したカリキュラムを用意しています。詳細は、本学教務部大学院事務室にお問い合わせください。

Q. 大学院生を対象とした奨学金はありますか？

A. 給付型奨学金(返還不要)、貸与型奨学金(返還必要)があります。

給付型奨学金は、入試成績、学業成績等に基づき対象者を決定するため、申し込みは不要です。
(ただし、サテライトコースの「ビジネスパーソン学業奨励金」は、申し込みが必要)

貸与型奨学金は、日本学生支援機構から貸与を受けるもので、入学後に申し込みが必要です。

詳細は、独立行政法人日本学生支援機構(奨学金)のWEBサイトでご確認ください。

この他、学外の奨学金財団の募集がある場合は、都度、学内掲示板等で案内しています。

Q. 教員との個別相談を希望しています。

A. 本学WEBサイト「入試情報サイト▶大学院入試」より申し込みを受け付けています。

詳細は、そちらをご確認ください。

入試情報サイト ▶



◆キャンパスマップ

大隅キャンパス



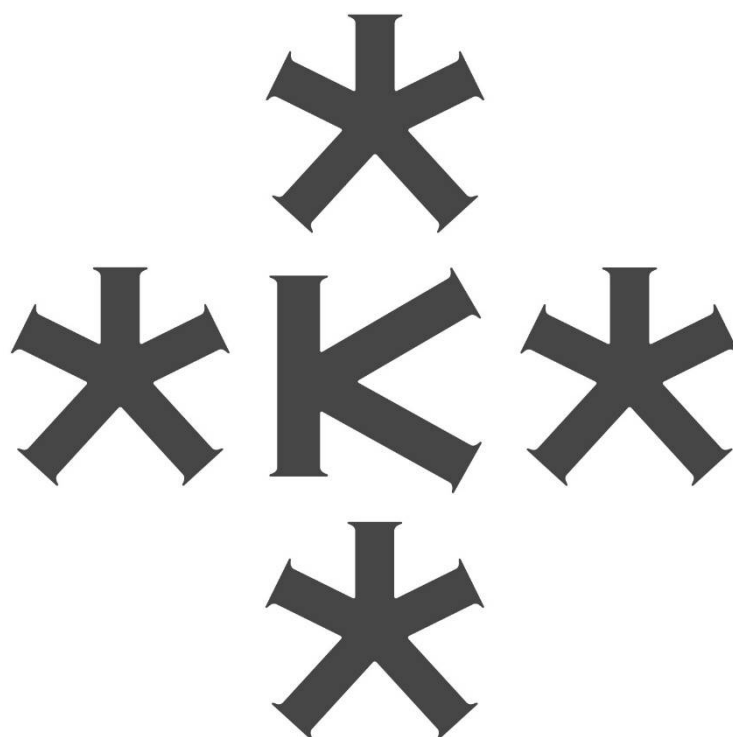
- 阪急京都線「上新庄」駅下車 徒歩約 15 分
- 大阪メトロ今里筋線「瑞光四丁目」駅下車 徒歩約 2 分

北浜キャンパス



- 京阪本線・大阪メトロ堺筋線「北浜」駅下車 直結
- 大阪メトロ御堂筋線「淀屋橋」駅下車 徒歩約 7 分(地下道で直結)
- 京阪中之島線「なにわ橋」駅下車 徒歩約 1 分

※2027 年度より、梅田サテライトキャンパス(仮称)を開設予定。



大阪経済大学

OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅 2-2-8 Tel.06-6328-2003 (入試部直通)
入試情報サイト：<https://www.osaka-ue.ac.jp/entrance/admissions>
大学院入試窓口：in-nyushi@osaka-ue.ac.jp